

福井のものを東京から発信。企画展「NEW FUKUI」松屋銀座で開催
金継ぎ・木彫ワークショップやアーティスト個展も同時展開

(公財) ふくい産業支援センターデザイン振興部は、県内企業の販売促進・新市場開拓支援を目的に、福井県内のものづくり企業や作家が集う企画展「NEW FUKUI」を、2026年2月18日(水)から24日(火)まで、松屋銀座7階 おりふしギャラリーで開催します。

8回目となる今回は、越前漆器の金継ぎ師や木彫作家、革小物メーカー、絵付け作家など5組が出展。展示販売に加え、本うるしによる金継ぎや木彫のワークショップを実施します。また特別企画として、アーティスト・さわだはるか氏による個展「ANGELS」を東京・恵比寿で同時開催し、NEW FUKUI 出展者によるトークショー等を通じて福井のものづくりの魅力を多角的に発信します。

<開催概要>

企画展名：NEW FUKUI

会期：2026年2月18日(水)～24日(火)

会場：松屋銀座 7F おりふしギャラリー

主催：(公財) ふくい産業支援センター

<出展者>

うるしの駒や(金継ぎ・漆器/鯖江)

さわだはるか(アーティスト/鯖江) ※北海道と福井県の2拠点生活

MIO SUZUKI(木彫作家/鯖江)

マルウ・メゾン(革小物/越前) ※マルイチセーリング(株)のブランド

中荒江道子(絵付け作家/坂井市三国)

<ワークショップの開催> ※日程等、詳細は添付資料をご参照ください。

■ 本うるしの金継ぎワークショップ

講師：藪下喜行(うるしの駒や)

■ ビスケットの木の型作りワークショップ

講師：鈴木美央(MIO SUZUKI)

<特別企画> さわだはるか 絵画展「ANGELS」

会場：MARUICHI TOKYO(東京都渋谷区恵比寿)

会期：2026年2月6日(金) - 24日(火) ※事前予約不要・入場無料

○トークショー「さわだはるか×ニューフクイ」2月17日(火) 16:00 - 17:30

■ 本件に関するお問い合わせ先 ■

公益財団法人 ふくい産業支援センター デザイン振興部 担当: 藤田

電話: 0778-21-3154 / e-mail: s.fujita@fisc.jp

「NEW FUKUI」開催概要

福井県内のものづくり企業や作家等が集う企画展「NEW FUKUI」を今年も開催します。（8回目）
催事では、5社の出展者が物販を行う他、本漆の金継ぎや木彫のワークショップを行います。

また、特別企画としてアーティストさわだはるか氏の個展を開催。出展者が一堂に集うトークイベントを実施することで、新たなターゲット層にアピール、福井県のものづくりの魅力を伝えます。

タイトル **NEW FUKUI**

場所 松屋銀座 7F おりふしギャラリー（東京都中央区銀座3丁目6-1）

会期 令和8年2月18日（水）～24日（火）

営業時間 11:00～20:00（初日昼12時開場／最終日午後5時閉場）

主催 （公財）ふくい産業支援センター

<出展企業 5社> 別紙①参照

- ・うるしの駒や（金継ぎ師・漆器／鯖江）
- ・さわだはるか（アーティスト／鯖江）※北海道在住で福井県との二拠点生活。
- ・MIO SUZUKI（木彫作家／鯖江）※鈴木彫刻所の鈴木美央氏
- ・マルウ・メゾン（革小物製造／越前）※マルイチセーリング（株）の革小物ブランドです。
- ・中荒江道子（絵付け作家／坂井市三国）※初参加です。

<期間中の併催イベント> 別紙②参照

■本うるしの金継ぎワークショップ

講師：藪下喜行（うるしの駒や／代表）

日時：2月19日（木）① 13時～14時30分、② 16時～17時30分

時間は、①と②のいずれかを選択。 <事前予約制>

場所：松屋銀座 7F 特別室

■ビスケットの木の型作りワークショップ

講師：鈴木美央（MIO SUZUKI／木彫作家）

日時：2月20日（金）13時～15時30分 <事前予約制>

場所：同上

<特別企画>

さわだはるか 絵画展「ANGELS」開催

場所 MARUICHI TOKYO（東京都渋谷区恵比寿南3-5-7 デジタルゲートビル 3F）

会期 令和8年2月6日（金）～24日（火） 営業時間 10:00-18:00（水曜日・日曜日休館）

<期間中の併催イベント>

トークショー「さわだはるか×ニューフクイ」

場所 MARUICHI TOKYO（同上）

会期 令和8年2月17日（火）16:00～17:30 <予約不要／入場無料>

<登壇者> 藪下喜行（うるしの駒や）、小林憲史（マルウ・メゾン）、さわだはるか（絵画）

<お問い合わせ先>

（公財）ふくい産業支援センター デザイン振興部 担当：藤田茂治

TEL：0778-21-3154 E-mail：s.fujita@fisc.jp <https://www.sankan.jp/fmc/>

「NEW FUKUI」出展者

別紙①

| | | |
|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | <p>うるしの駒や</p> <p>代表 藪下 喜行</p> <p>金継ぎ師／漆器（鯖江市）</p> <p>https://urushinokomaya.com</p> | <p>代表で金継ぎ師の藪下氏は、福井県の黒龍酒造で酒造りや企画などに従事後、越前漆器の伝統工芸士 駒本長信氏に師事。2022 年、金継ぎを扱う「うるしの駒や」を創業して福井県と東京都の工房で作業を行なっている。また、酒造業の従事していた経験から口当たりの良い拭き漆の器「うすくちうるし」を考案し商品化。手仕事で丁寧に研ぎ出した薄口の口縁に拭き漆を塗り重ね、やさしく潤いある口あたりに仕上げている。</p> <p><注目></p> <p>さわだはるかとのコラボレーションで生まれた器「JAMES」に仲間が登場。</p> |
| 2 | <p>さわだはるか</p> <p>代表 澤田晴香</p> <p>アーティスト／絵画（鯖江市）</p> <p>https://harukasawada.tumblr.com</p> | <p>長野県出身。京都の美大を卒業した後、福井県に移住し、シルクスクリーンの工場働きながら絵画制作をスタートさせる。2015 年の初個展以来、絵画作品や、インスタレーション作品を中心に独自世界を表現。視野を広げべく昨年の 4 月から札幌に移り福井県との 2 拠点生活を開始。今回は、北海道での生活の中で生まれたイメージを描いた新しい作品を中心に展示。</p> <p><注目></p> <p>福井県の作り手とコラボレーションして生まれた商品も展示販売。</p> |
| 3 | <p>MIO SUZUKI</p> <p>主宰 鈴木美央</p> <p>木彫作家（鯖江市）</p> <p>https://www.instagram.com/mio_suzunoki/</p> | <p>鈴木彫刻所は、1968 年創業以来、木彫専門店として社寺仏閣彫刻、仏像彫刻、欄間彫刻など手掛けている。（例えば、沖縄県の首里城正殿修復で鈴木夫妻が手がけた「懸魚（げぎょ）」と呼ばれる屋根を彩る彫刻が設置されている。）鈴木美央は、作家としても活動しており、国内産の絵を使い、胡粉のやさしい白の質感で仕上げた作品が人気。</p> <p><注目> 人気のシロクマシリーズに新作登場。</p> |
| 4 | <p>マルイチセーリング株式会社</p> <p>事業担当 小林 憲史（越前市）</p> <p>https://www.maruichi1950.jp/</p> <p>https://marumaison.com/</p> | <p>1950 年創業のソファメーカー MARUICHI がお届けするオイルレザーの革小物コレクションです。SDGs の観点から工場から出る良質な端材の革を使用した商品開発に着手。革小物ブランド「MARU・MAISON」が誕生。カジュアルなマディソンバッグをモチーフとした意匠は、小林憲史によるデザイン。オイルフィニッシュによるしっとりとした質感は手に馴染み、経年変化を楽しめます。</p> <p><注目> 人気のミニ巾着、新作スマホバッグが登場。</p> |
| 5 | <p>中荒江道子</p> <p>（絵付け作家・坂井市）</p> <p>https://www.instagram.com/michikoyako/</p> | <p>2010 年に京都伝統工芸大学校を卒業し、すぐに京都の稲葉抱山氏に師事して色絵を、翌年、加賀市の山本長左氏のもとで染付を学ぶ。2015 年に独立。現在はあわら市に工房を構え、制作を行っている。絵柄は、伝統的な文様をベースにアレンジ。華やかでほっこりとした印象で日常使いに丁度いい器。</p> <p><注目> 今回初参加。</p> |

■本うるしの金継ぎワークショップ

講師：藪下喜行（うるしの駒や／代表）

<プロフィール> 藪下喜行(やぶしたよしゆき)

うるしの駒や代表。「ものづくりでこころ豊かに」をモットーに、福井県鯖江市と上野池之端で、「金継ぎ」や「うすくちうるし」の製造販売等を営む。継未金継ぎ塾講師。福井県立大学大学院博士後期過程。経営学修士。

<内容>

「本うるし」による「金継ぎ」作業の体験。欠けてしまった、割れてしまった器をご持参ください。ご依頼品の修理代をお見積りの上、ワークショップでは、「本うるし」による接着、及び形状復元作業をご体験いただきます。「本うるし」を使用した伝統的な技法のため、4~5工程を2~3ヶ月間かけて行います。ワークショップ終了後は、器をお預かりしてうるしの駒やが仕上げます。

日時：令和8年2月19日（木）① 13時~14時30分、② 16時~17時30分

※時間は、①と②のいずれかを選択。（90分間）

場所：松屋銀座 7F 特別室（東京都中央区銀座3丁目6-1）

定員：各ワークショップ3名ずつ

費用：参加費 3,300 円+修理代（目安 3,850 円~、破損状況によって金額が異なります。）【税込】

金継ぎ作業の体験前に、ご依頼品の修理代をお見積りの上、修理方法をご相談いたします。

持ち物や服装の注意事項：

準備物：欠けてしまった、割れてしまった器をご持参ください。

ワークショップに参加される方は、汚れてもいいお洋服やエプロンをご持参ください。ゴム手袋をご用意しますが、「漆かぶれ」が心配な方はご遠慮ください。

<参加申し込み方法> 事前予約制

予約受付期間中、松屋銀座のウェブサイトに参加予約専用のホームページから登録できます。

予約期間：2月11日(水)午前11時~17日(火)午後8時

ご予約用 URL <https://matsuyaevent.resv.jp/>



■ ビスケットの木の型作りワークショップ

講師：鈴木美央（MIO SUZUKI／木彫作家）

<プロフィール> 鈴木美央(すずきみお)

富山市出身。彫刻家・堀友二氏に師事。2011年にブランド「MIO SUZUKI」を設立。

2012年、経済産業省 WAO 工芸ルネッサンス・プロジェクトに参加し、ニューヨークおよびパリで作品が展示紹介される。ヒカリエ d47 MUSEUM 「NIPPON の 47 人の CRAFT」 巡回展では、ブラジル・サンパウロ、ロサンゼルス、中国・深圳市、中国・上海市で作品を紹介。サンパウロ展では、松のスプーン作りワークショップも開催。現在、東京・南青山の木教室[suzunoki]、および福井県鯖江市の木彫教室「鈴の木」を主宰。

<内容>

小学校で使う版画刀セットを用いて飾っても可愛い「ビスケットの木型」を作ります。

日時：令和8年2月20日（金）13時～15時30分（90分間）

場所：松屋銀座 7F 特別室（東京都中央区銀座3丁目6-1）

定員：6名

費用：参加費 6,600 円（材料代含む）

持ち物：滑り止め付きの重手、エプロン、ごみの付きにくい服装

<参加申し込み方法> 事前予約制

予約受付期間中、松屋銀座のウェブサイトに参加予約専用のホームページから登録できます。

予約期間：2月11日(水)午前11時～17日(火)午後8時

ご予約用 URL <https://matsuyaevent.resv.jp/>



特別企画・開催概要

■ さわだはるか 絵画展「ANGELS」開催

<内容>

松屋銀座で開催する企画展「NEW FUKUI」を東京で周知するため、NEW FUKUI メンバーである（株）マルイチセーリングの恵比寿ショールーム「MARUICHI TOKYO」を利用して、同じく NEW FUKUI メンバーのさわだはるかの絵画を展示する絵画展「ANGELS」を開催する。

絵画展では、越前和紙を使った絵画と、札幌に生活拠点を移してから制作した新作を中心に 約 30 点を展示。また、福井のメーカー・工房と制作した手ぬぐい、トートバッグ、T シャツなどのコラボレーションアイテムも販売。

場所 MARUICHI TOKYO（東京都渋谷区恵比寿南 3-5-7 デジタルゲートビル 3F）

会期 令和 8 年 2 月 6 日（金）～24 日（火）<入場無料・予約不要>

営業時間 10:00-18:00（水曜日・日曜日休館）

<さわだはるかプロフィール>

長野県出身。京都の美大を卒業した後、福井県に移住し、シルクスクリーンの工場で働きながら絵画制作をスタートさせる。2015 年の初個展以来、絵画作品や、インスタレーション作品を中心に独自世界を表現。視野を広げるべく昨年の 4 月から札幌に移り福井県との 2 拠点生活を開始。

<トークショーの開催>

タイトル「さわだはるか × ニューフクイ」

本絵画展と、「NEW FUKUI」の見どころを出展者が解説。

ソファでお寛ぎいただきながらご参加ください。

場所 MARUICHI TOKYO（東京都渋谷区恵比寿南 3-5-7 デジタルゲートビル 3F）

日時 令和 8 年 2 月 17 日（火）16:00-17:30 <入場無料・予約不要>

-登壇者-

薮下 喜行（うるしの駒や／金継ぎ師）

小林 憲史（MARUICHI TOKYO／マルウ・メゾン デザイナー）

さわだはるか（アーティスト）

会場となる「MARUICHI TOKYO」は、福井発のソファメーカー・マルイチセーリング株式会社のショールーム。本展では、ソファのある生活空間に絵画を配置し、「暮らしの延長で作品と出会う」体験を提案します。作品を鑑賞するための特別な場所ではなく、日常の中に自然と溶け込むアートの在り方を提示することで、絵画と暮らしの新しい関係性を探ります。

<お問い合わせ先>

（公財）ふくい産業支援センター デザイン振興部 担当：藤田茂治

TEL：0778-21-3154 E-mail：s.fujita@fisc.jp <https://www.sankan.jp/fmc/>

NEW FUKUI 広報画像



さわだはるか 絵画展「ANGELS」広報画像



NEW FUKUI について

<活動目的>

NEW FUKUI のコンセプトは、「福井のこれからのものづくりを伝える、届ける」。各企業が主体性を持ち協業することで互いに成長することを目的としています。東京の松屋銀座で開催する企画展「NEW FUKUI」で売り場に立ち、お客様との接点となる売り場の空気感を感じとる。また、直接交流し作り手の想いを伝えることでファンになってもらう。更に次の新しい活動のきっかけとなり発展することを目指しています。

<経緯>

2017 年～2019 年 企画展「ニューフクイ」（松屋銀座） 主催：福井県・ふくい産業支援センター

2020 年～2021 年 企画展「暮らしに息づくものづくり」（一乗谷朝倉氏遺跡・復原街並内）

ZOOM を使ったオンライン在店の試み「POP UP STORE」（福井ものづくりキャンパス）

2021 年 公的支援から自立化を進めていくためグループ「NEW FUKUI」設立

グループとして初めて企画展「NEW FUKUI」（松屋銀座）開催

2022 年 さわだはるかがリーダーとなり企画展「NEW FUKUI」（松屋銀座）開催

2023 年 企画展「NEW FUKUI」（松屋銀座）、「NEW FUKUI」（阪神百貨店）開催

2024 年 企画展「NEW FUKUI 2025」（松屋銀座）開催

2025 年 企画展「NEW FUKUI」（松屋銀座）開催 主催：ふくい産業支援センター



2025 年 2 月に開催した NEW FUKUI の様子（松屋銀座）